

活動指導案

実践団体名 竹あかりの集い実行委員会

■基礎データ

2009－11

① タイトル

「竹あかりの集い」

② 活動の概要

多様な団体が連携して安全安心なまちづくりをめざす

③ 目標・ねらい

①阪神淡路大震災の犠牲者の鎮魂 ②防災の意識を高める ③ボランティアの輪を広げる ④地域の絆を高める

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①多様な団体によるまちづくり ②地域住民の防災意識の向上 ③地域の絆

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民 児童・生徒

⑥ 活動・作業形態

竹あかりの集い実行委員会の「竹班」が作った竹筒とメッセージボトルに、ローソクを置いてあかりを灯す

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

竹筒 ローソク(丸・長) ペットボトル 砂 プログラム 1, 17希望の灯り チラシ・ポスター 横断幕・のぼり旗 炊き出し材料

⑧ 所要時間

4時間(ボランティア広場・式典)

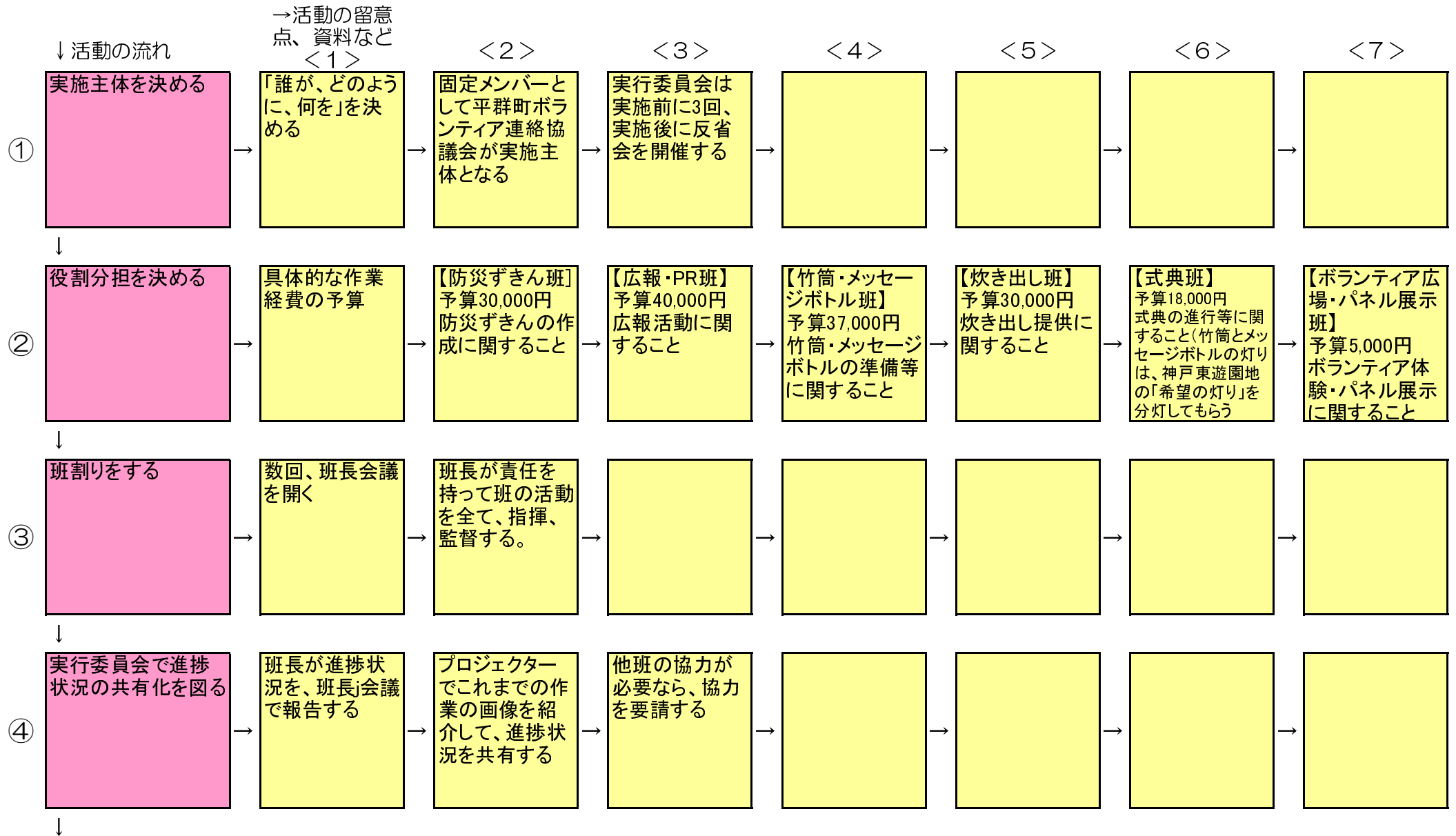
⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

150人

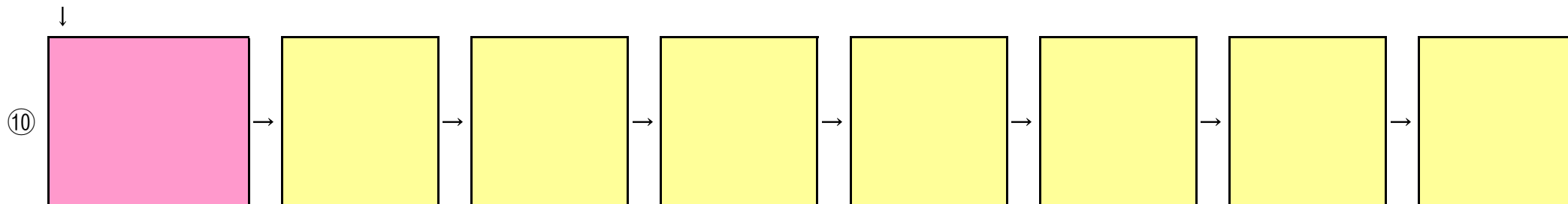
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

所要額 164,000円
財源 赤い羽根共同募金配分金(98,400) 平群町ボランティア連絡協議会(65,600)

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

参加者の増加 準備に関わる多様な団体の増加

②その他の評価

実行性を伴う参加(後援・協力団体の具体的な作業への参加)

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

「自分の町を自分の手で住みよくするための活動である」ことが実感できるように。
日頃の活動を活かして得意な分野を担当する。
活動に関わる全員が、等しく状況を把握できるように画像などで共有化を図る。

②参考資料等

チラシ プログラム 写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 竹あかりの集い実行委員会

■基礎データ

2009－12

① タイトル

命を守る防災ずきん作り

② 活動の概要

ボランティアと中学生が連携して防災ずきんを作り、小学生などに寄贈する

③ 目標・ねらい

住民の防災意識の向上を図り、災害から子どもたちの命を守る

④ 活動で上げることが
できる力・能力

住民の防災意識の向上 中学生の地域貢献 ボランティアと学校の連携

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民 児童 幼稚園児 高齢者

⑥ 活動・作業形態

防災ずきんを作って、寄贈する

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

作業する場所 材料（表地 裏地 マジックテープ カラー紐 ） ミシン マチ針

⑧ 所要時間

50枚で3時間

⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

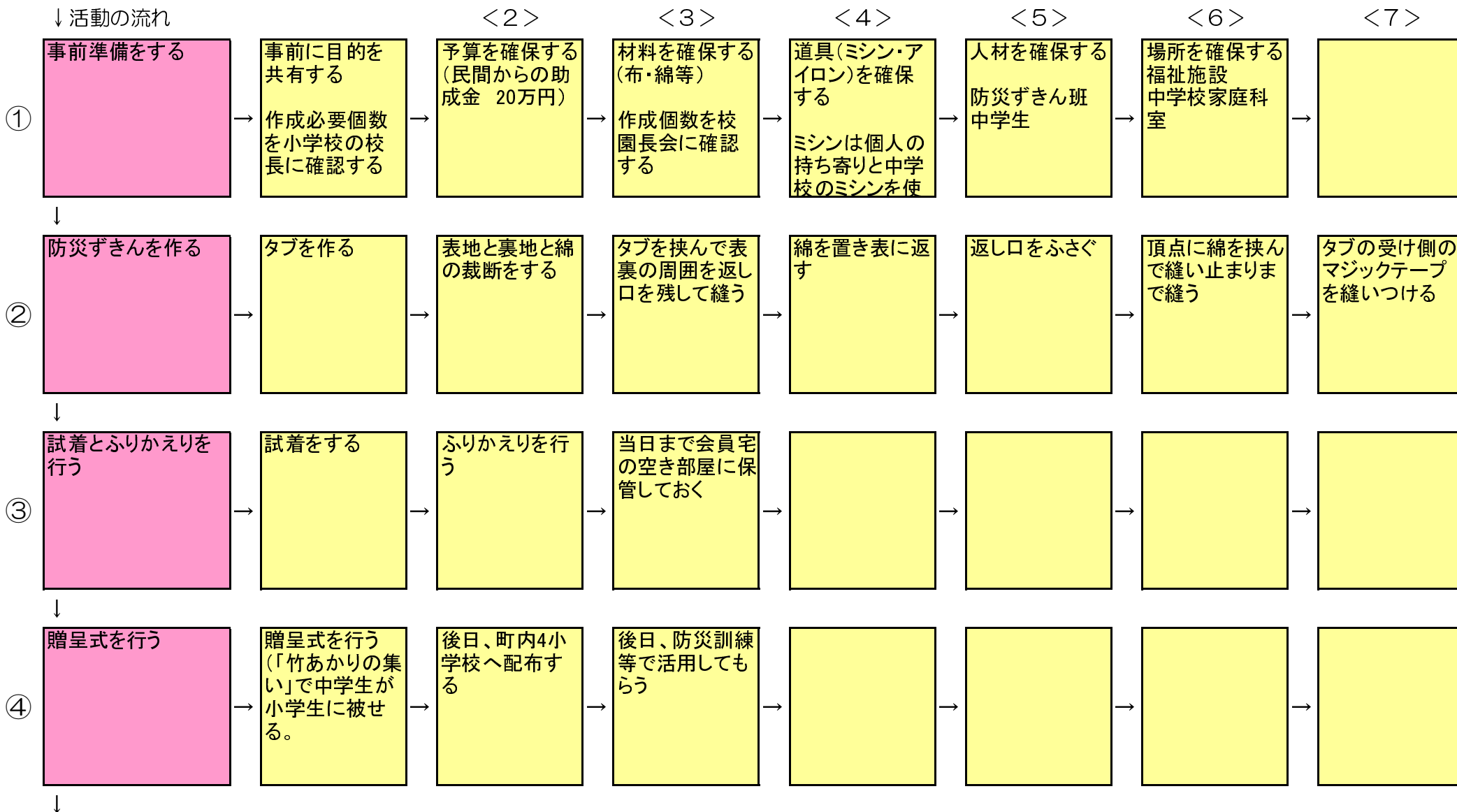
50枚で5人

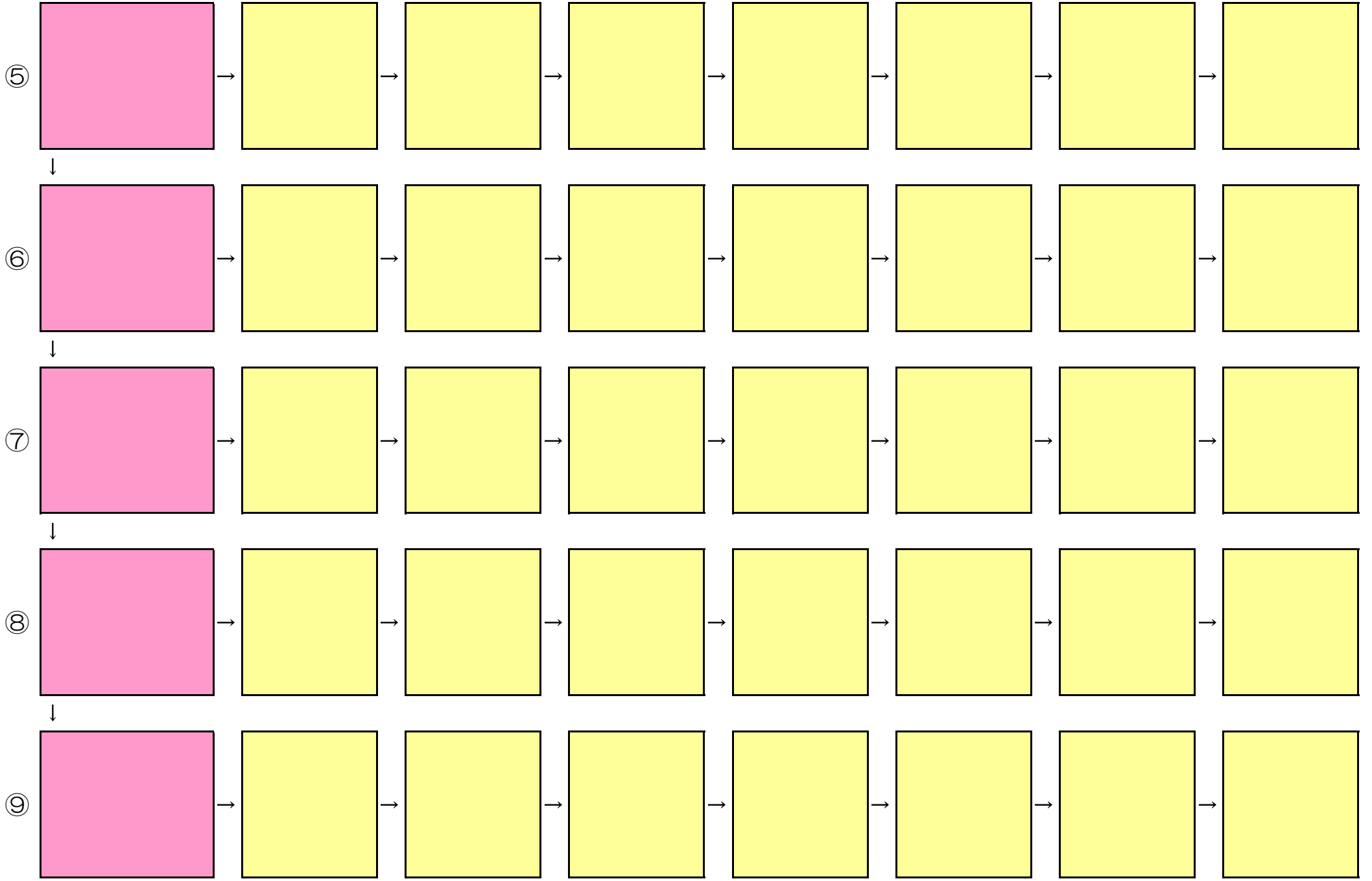
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

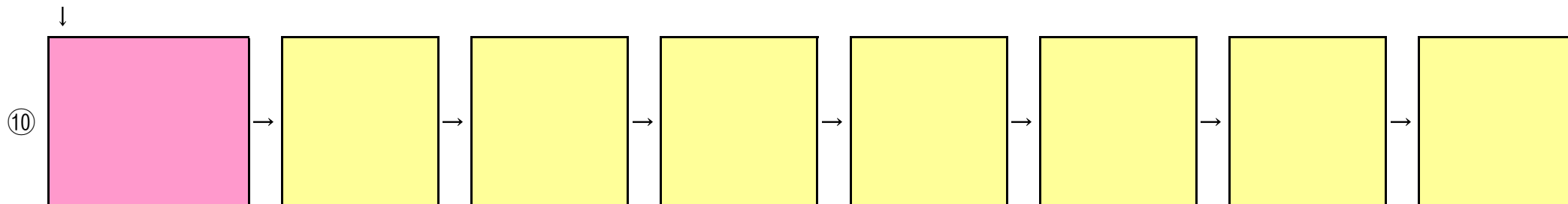
材料費：50枚で7,500円

■活動の流れ

→活動の留意点、資料など







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

毎年180枚
6年間で約1,000枚

②その他の評価

- ・防災訓練等で防災ずきんを活用することができる
- ・身近に置くことで安心感を持ってもらう
- ・手作りなので暖かさを感じてもらう
- ・同じものを使うので連帯感を持ってもらう
- ・防災意識を向上させ、防災ずきんづくりを普及させることができる

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

ボランティアや中学生だけではなく、PTAの保護者や地域の方々など幅広く参加していただき、町中で防災意識を高めるようにする

②参考資料等

現物
制作工程の写真

※ 活動指導案作成のための準備物：①写真（活動の代表的な写真、流れがわかる写真等）、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 竹あかりの集い実行委員会

■基礎データ

2009－13

① タイトル

ペットボトルでメッセージボトル作り

② 活動の概要

ペットボトルでメッセージボトルを作り、阪神淡路大震災の犠牲者の冥福を祈る

③ 目標・ねらい

住民の絆を高め、安全安心のまちづくりをすすめる。阪神淡路大震災を風化させない

④ 活動で上げることが
できる力・能力

住民の防災意識の向上 住民の絆の向上

⑤ 対象者（受ける側）

地域住民

⑥ 活動・作業形態

ペットボトルでメッセージボトルを作り、中にローソクを置いて点灯する

⑦ 準備するもの
（道具、材料等）

ペットボトル メッセージ用紙 砂 ローソク

⑧ 所要時間

10個で1時間

⑨ 必要なマンパワー
（実施者、役割、人数）

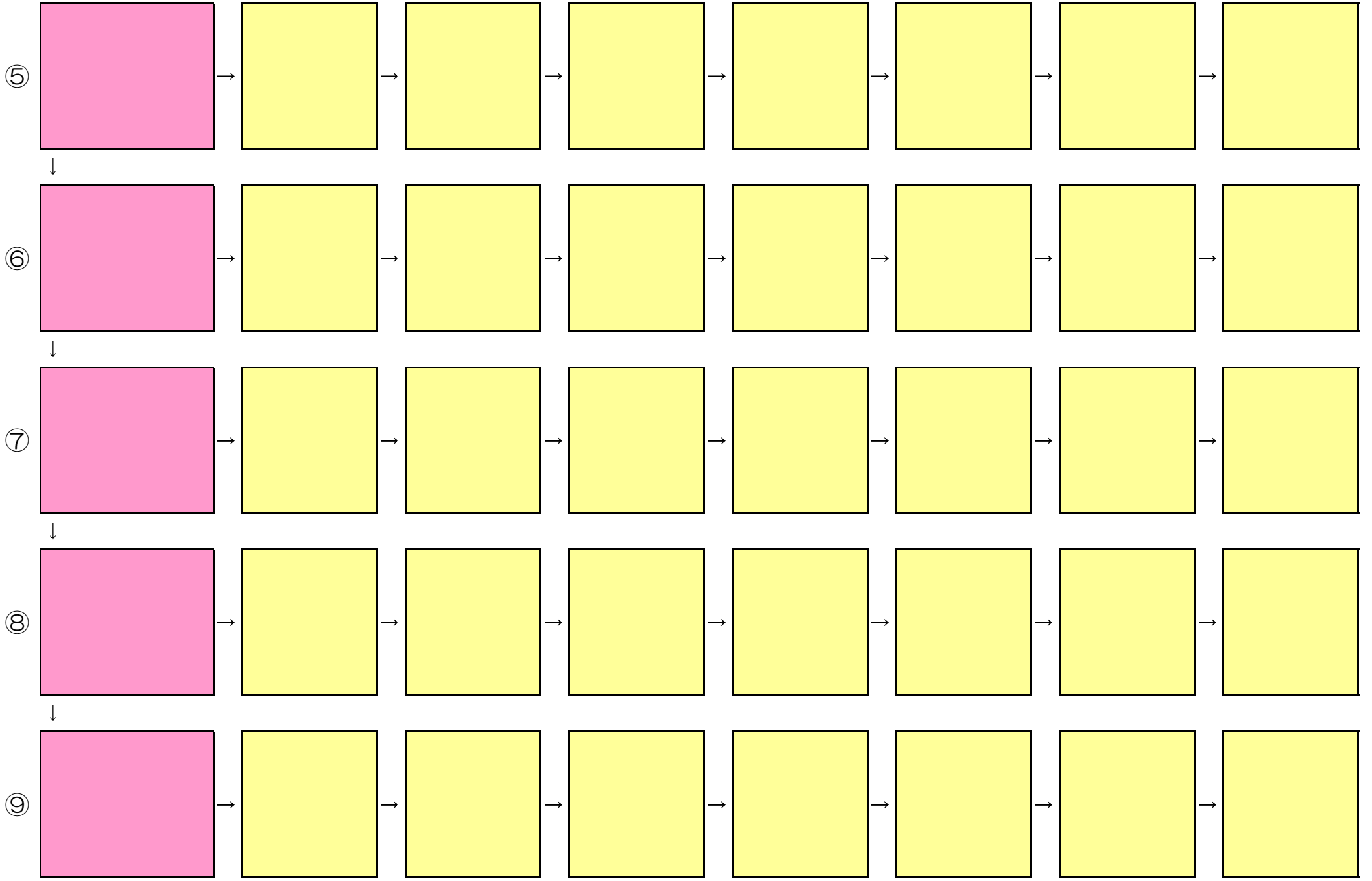
10個で2人

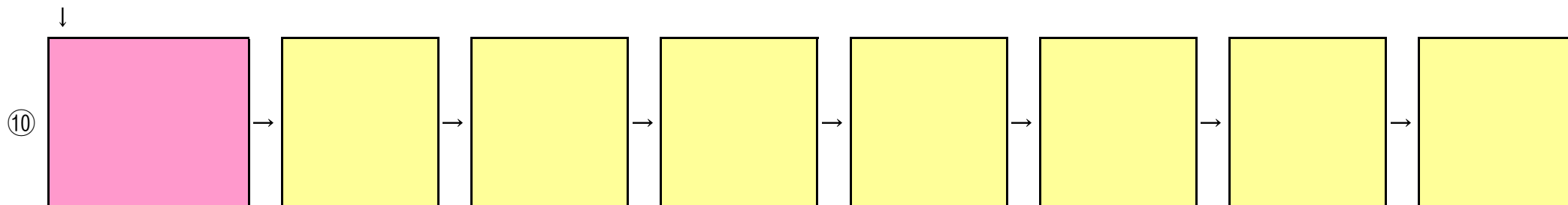
⑩ 必要経費
（所要額、財源）

材料費 10個で200円

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

製作者数の増加

②その他の評価

設置場所の増加(町中に広がるように)

■備考・その他(活動のコツなど)

①活動のコツなど

見物者が、次は製作者になるようにする

②参考資料等

現物 完成写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 クック
COOK 81 (男性料理グループ)

■基礎データ

2009 - 14

① タイトル

災害に備えておにぎり作り

② 活動の概要

男性グループがおにぎりを作り、イベント(竹あかりの集い)などで配布する

③ 目標・ねらい

災害時にも男性が炊き出しに参加して、地域貢献できるように実践する

④ 活動で上げることが
できる力・能力

防災意識の向上 男性の調理能力

⑤ 対象者(受ける側)

地域住民

⑥ 活動・作業形態

おにぎりを作って配布する

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

米 炊飯器(炊き出し用) ガス燃料 ラップ

⑧ 所要時間

100個で2時間

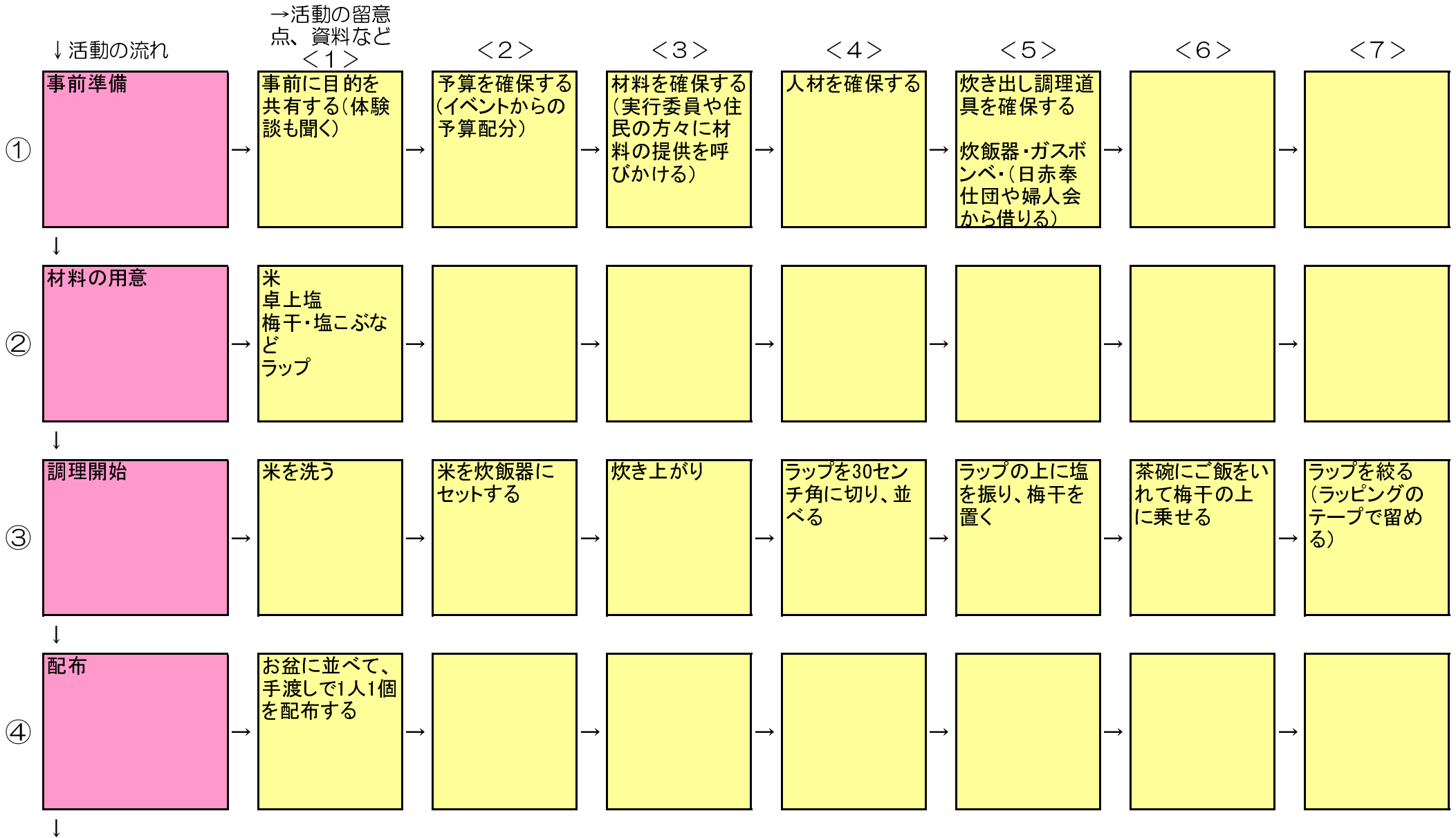
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

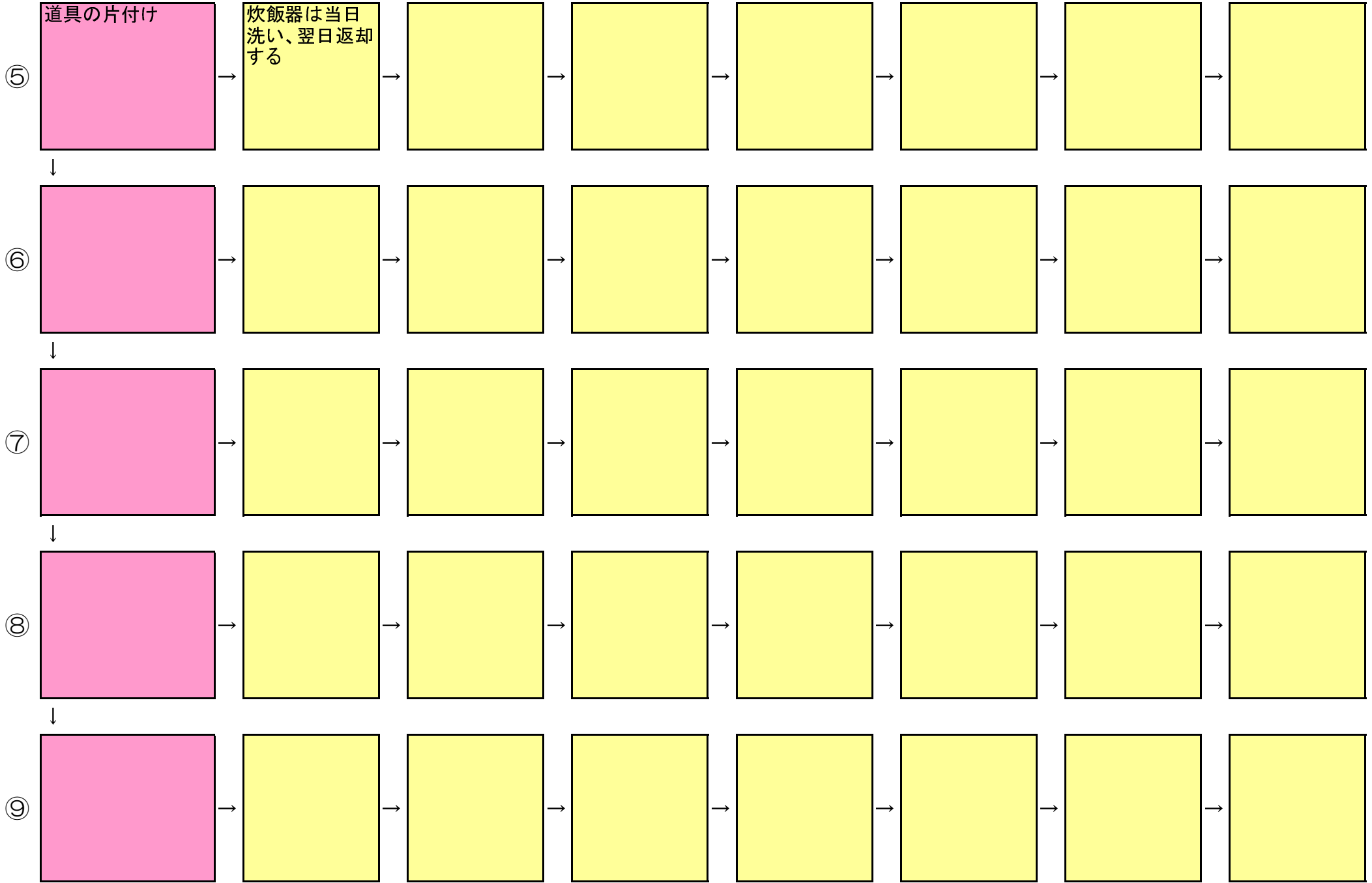
100個で5人

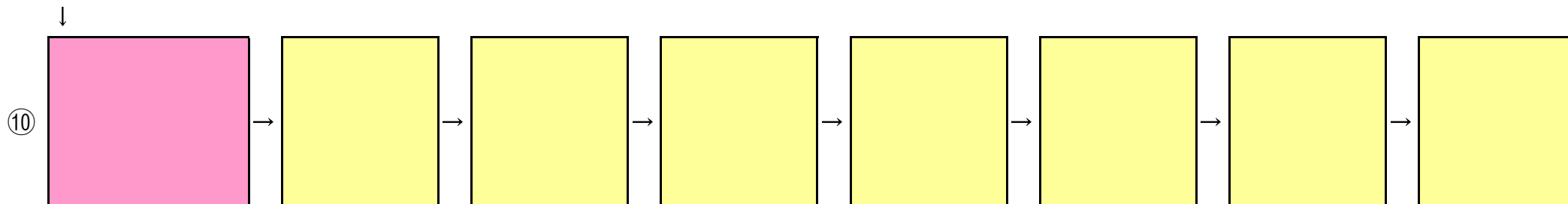
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

100個で2,500円

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

炊飯器の数量と米の備蓄を増やすことにより、おにぎりを作る量の増加が望める

②その他の評価

退職後の男性の地域貢献 男性の能力の発揮 男性自身もやりがいを感じる
防災意識の向上 住民に安心感を与える

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

自分の行動に責任を持てるようにすることによって、共有する作業がうまくいく リーダーの養成と経験の積み重ね

②参考資料等

写真

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等

活動指導案

実践団体名 平群町ボランティア連絡協議会

■基礎データ

2009－15

① タイトル

ホームページで情報発信

② 活動の概要

ホームページを作成して、活動内容を報告・発信する

③ 目標・ねらい

情報を一元化し、自分たちの活動を発信して活動の輪を広げる

④ 活動で上げることが
できる力・能力

活動者の連帯感、広報能力(プレゼンテーション能力)

⑤ 対象者(受ける側)

全国の地域住民の方々 各団体及び各会員

⑥ 活動・作業形態

活動報告を作成して、ページを更新して発信する

⑦ 準備するもの
(道具、材料等)

パソコン カメラ ホームページ作成ソフト インターネット環境 スキャナ USBメモリー

⑧ 所要時間

ホームページ立ち上げ時:10時間 更新時:1時間

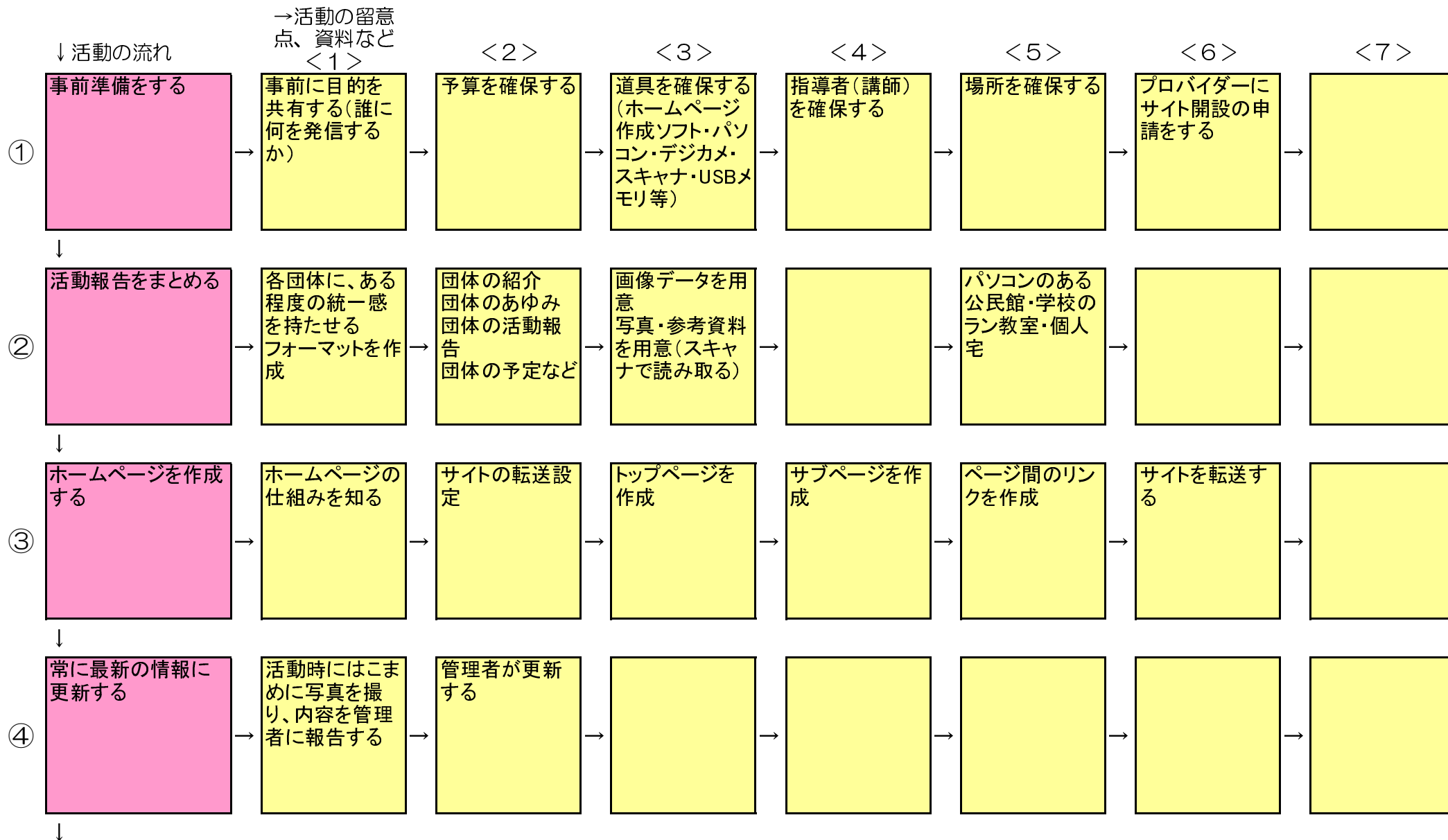
⑨ 必要なマンパワー
(実施者、役割、人数)

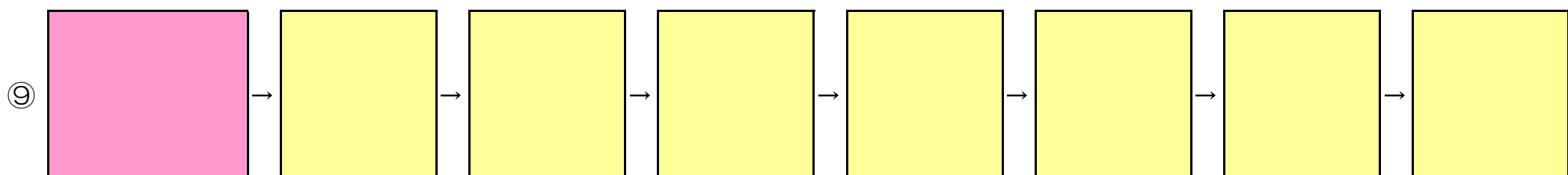
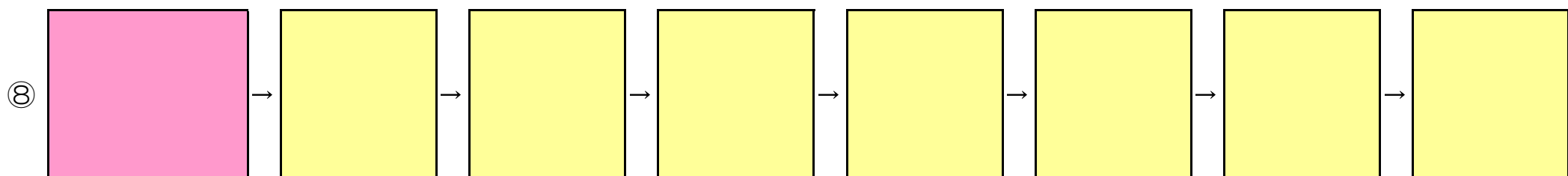
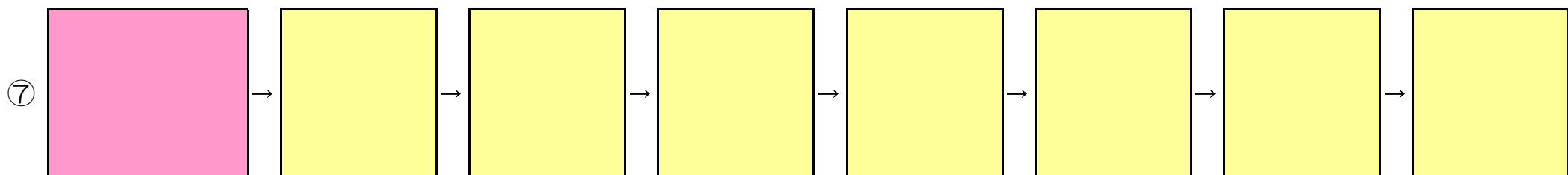
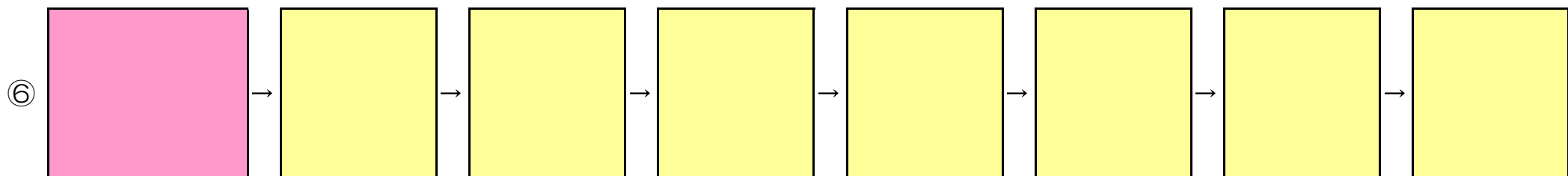
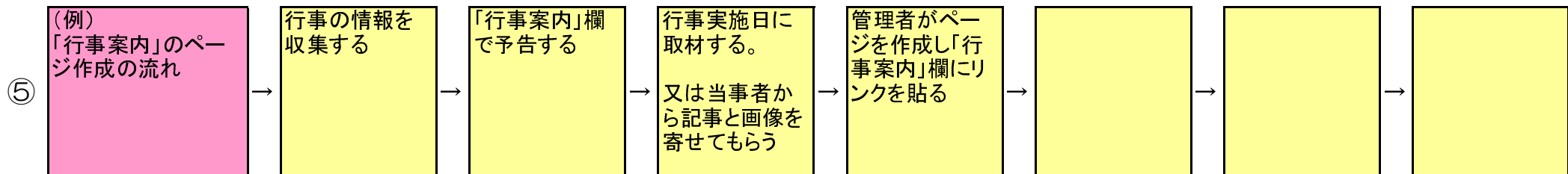
各団体1～2人 更新作業員1人

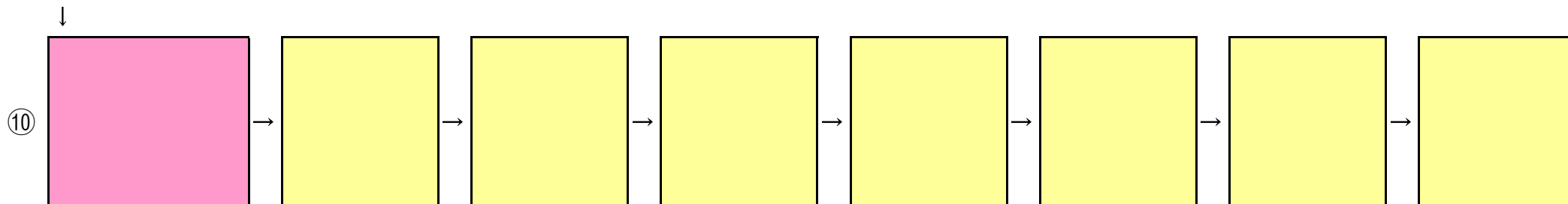
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

立ち上げ費用:20万円 維持費用:年間5,000円

■活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

アクセス数、登録団体数の増加

②その他の評価

団体間で情報共有
他県からボランティア活動に関する問い合わせ

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

会員がパソコンの基本的な知識を持っている
情報を発信すると同時に情報を受け取る会員の研修も必要

②参考資料等

HP作成のテキスト

※ 活動指導案作成のための準備物 : ①写真(活動の代表的な写真、流れがわかる写真等)、②参加者への配付資料、③実施者向けマニュアル・資料 等